

お家にも彩りを！ 自分でできる「ドライフラワー」の作り方

ドライフラワーの作り方には、「ハンギング法」・「シリカゲル法」・「ドライインウォーター法」などの方法がありますが、家庭でもできる「ハンギング法」で説明します。

「千日紅」のドライフラワーの作り方

- ① 用意する物
- ・千日紅
 - ・植物用はさみ
 - ・麻紐（輪ゴムでも代用可能）



- ② 根元を切り落とします。
（水に浸かっていた部分など）



- ③ 複数本まとめて麻紐（輪ゴムでも可）縛ります。
茎が細いので乾燥中に抜けないようきつくまとめます。
反対側の端を輪っかにしておくと吊しやすいです。



- ④ 風通しのよい、直射日光が当たらない場所で、1～2週間ほど吊します。
急いでいる場合は、扇風機やエアコンの風を当てると乾燥が早まります。その際、強く当てないように気をつけましょう。

- ⑤ 飾ってみよう！
- ※ コーティングスプレーなどで保護すると多少ですが長持ちします。
- ・リボンを使ってリース
 - ・ラッピングシートを使って飾る
 - ・他の花と一緒にリースをつくって飾る



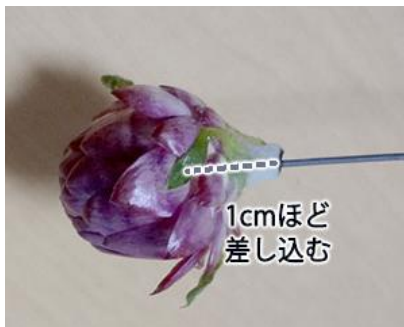
「帝王貝細工」のドライフラワーの作り方

例) 花だけを、針金を使ってつくってみよう。

- ① 用意する物
- ・帝王貝細工
 - ・植物用はさみ
 - ・針金



- ④ 花の選び方
気をつけてね！
- ・蕾の茎は細く柔らかい
 - ・咲いた花の茎は繊維質で硬くて太い



- ③ 陰干しをする。

- ・花だけの場合
針金を左写真のようにして差し込む。
- ・茎からの場合は、千日紅と同様に吊るし陰干しをする。

- ② 陰干しをする。
- ・花だけの場合
 - ・コップなど右写真のように入れて乾燥させる。



- ⑥ ワイヤーを使ってリースを作ってみよう。